

中部森林管理局分収育林評価委員会
平成29年度（第1回）議事概要

1 日 時 平成29年10月16日（月）13時30分～14時45分

2 開催場所 中部森林管理局会議室

3 委 員 委員長 石上日出男（弁護士）
委 員 中島 義雄（技術士（森林部門））
委 員 西入 悦雄（不動産鑑定士）

事務局 森林整備課長、監査官、分収林係長

4 議事概要

中部森林管理局から分収育林制度における国による持分の買受け価格の算定方法等について説明後、委員による審議の結果、概ね適正に評価されていると判断されました。

委員会では出された意見は次のとおりです。

委 員：国による算定方法は了解したが、立木価格評定により採算がとれない場合の価格設定は、採算が合う場合の価格を考慮した方が良いと考える。

事務局：分収育林契約箇所ごとに、樹種、数量等に相違があることはもちろん、現地の地形等により搬出条件等が変わるため、一律な価格設定は困難であるが、ご意見を踏まえ慎重に検討して参りたい。

委 員：オーナーの持分について全て国による持分買受けとなった場合、その後の森林の取り扱いはどのようになるのか。

事務局：国の所有になった場合は、伐採計画等森林の取り扱いを見直すこととなる。